

くにみ 議会だより

No.180
3月議会号



わくわくドキドキ 一年生

4月8日に、国見小学校に1年生53人が入学しました。真新しい制服を着て、新しい生活がスタートです。子どもたちの成長が楽しみです。

3月定例会

新規事業で都市再生整備計画事業

(平成31年度当初予算) P2

地方債の繰上償還 (平成30年度補正予算) P8

一般質問 (幼稚園、小中学校のインフルエンザ対策についてなど5人が登壇) P11

地方自治研究交流セミナー報告・常任委員会レポート P17

一般会計56.9億円 繰越予算2.2億円

都市再生整備計画事業を計上

平成31年度一般会計当初予算

新規事業で歴史公園整備や 町道改良を進める

平成31年度の当初予算は、仮置場の管理など除染56億9000万円、前年度に比べ6億4000万円（12.7%）増となり、全員賛成で可決しました。

当初予算は「国見のみらいをつくる5つの目標」を柱とされました。

都市再生整備計画事業や、子育て世代包括支援センター事業などの経費が計上されました。

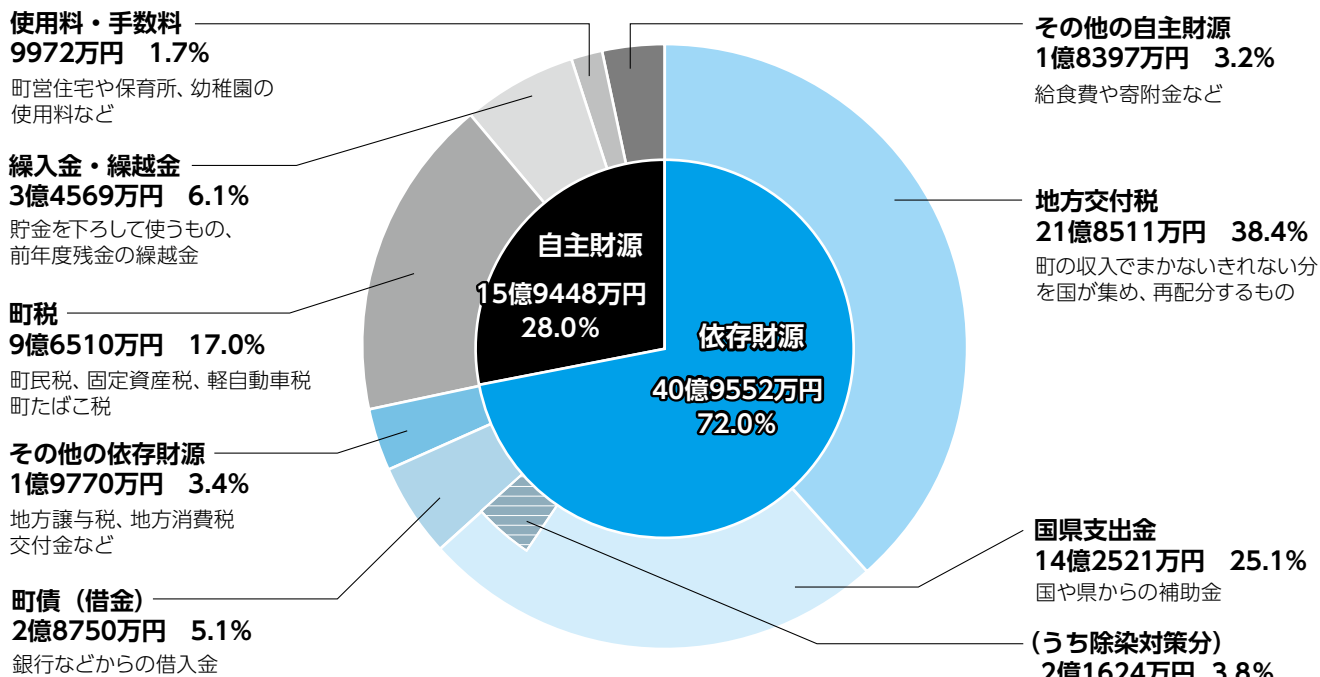
東日本大震災からの復興・再生

- 除染対策事業 2億1624万円
- ため池放射性物質対策事業 4億5111万円
- 営農再開支援事業（果樹の改植） 3510万円
- 放射線対策健康管理 608万円
- 農産物PR 300万円

安全安心な町政の実現

- 自治協議会事業（町道等の補修） 2200万円
- 消防団制服の購入 170万円
- 防火水槽・消火栓設置事業 1180万円
- 防犯灯の維持管理（LED化等） 650万円
- 防災訓練の実施 27万円

歳入 56億9000万円





整備が予定されている連池

3月
定例会

平成31年度

新規事業で

活力ある町政の実現

- くにみ農業ビジネス訓練所運営事業 2000万円
- 義経まつり事業 1120万円
- 地域おこし協力隊事業 1390万円
- 食の文化祭事業 200万円
- 芸術文化振興事業 883万円
- 明日へ。復興・きずなイルミネーション事業 300万円
- ジュニア応援団事業 150万円

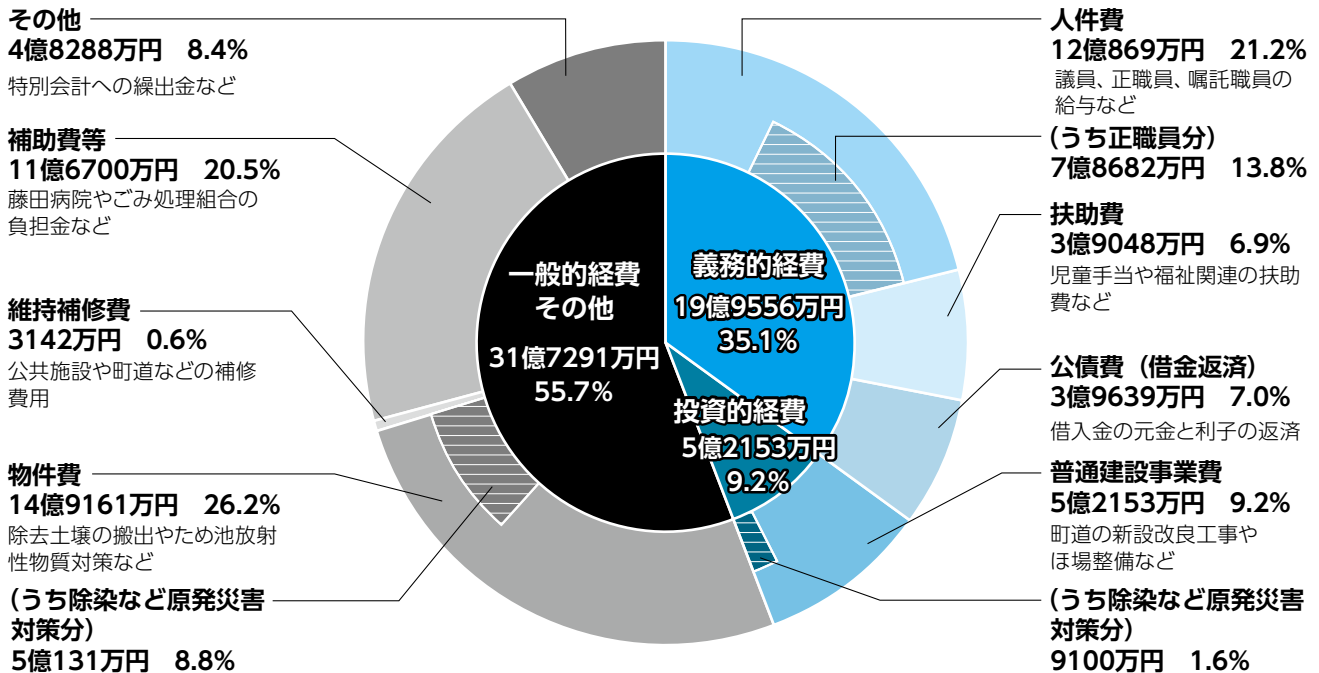
思いやりのある町政の実現

- 放課後子どもクラブなど子育て支援 4411万円
- 木育広場つなぐるむ事業 1559万円
- いきいきサロン、デイサービスなど高齢者支援 1227万円
- くにみもたん広場の運営 1084万円
- 通いの場など介護予防事業 403万円
- 幼小中一貫教育事業 39万円
- 高齢者運転免許返納支援事業 20万円

町の継続的な維持発展

- ふるさと納税事業 6407万円
- 阿津賀志山防塁周辺整備事業 2700万円
- 歴史を生かしたまちづくり事業 929万円
- 国見ホイスコーレ事業 957万円
- 新規就農者支援 424万円
- 歴史公園整備事業 1億円
- 町の情報発信事業 450万円
- 町民相談室兼消費生活相談事業 195万円
- 地域学校協働本部事業 99万円
- 若者交流事業 26万円

歳出 56億9000万円



当初予算の主な質疑

歳入

歳出

固定資産税の増は

問 (八島博正議員)
固定資産税の4200万円増の理由は何か。

課税 評価替えの基準年度である平成30年度の実績を踏まえ増となった。

除染対策事業は減っているが補助金の増は

(八島博正議員)

問 除染対策事業は減ってきているのに消防費県補助金が6348万円増となっている理由は。

課税 平成31年度から仮置場2カ所で復旧工事をするためである。

道の駅ブランディングプロモーションの内容は

(松浦和子議員)

問 地方創生推進費920万円の内容を伺う。

まちづくり うち250万円が道の駅アドバイザー料で道の駅で町をプロモーションするものである。国見ブランドの創造や統一したイメージ感を出し、町をPRする。

仙台くみに会の内容は

(松浦常雄議員)

問 地域プロモーション事業の仙台くみに会は、東京くみに会と同じ内容か。

東京くみに会と同じ内容か。

企画情報 道の駅の客層も宮城県が多いので、平成31年度仙台プロモーションを強化していく。東京くみに会とは距離感も違うので内容は考える。昨年のも物産展で好評だった桃を考えたい。

道の駅の指定管理料を当初予算に計上した理由は

(佐藤定男議員)

問 道の駅の指定管理料2500万円について、これまで施設維持管理料は町と協議で補正予算で対応してきたが、今回はなぜ当初予算に計上したのか。

まちづくり これまでの2年間では年間管理運営費が把握できたので当初予算で計上した。

問 (佐藤定男議員) 当初予算での計上となるとある程度固定された金額と考えられるが、経営が好転すれば町の負担は減額となるのか。

■平成31年度各会計当初予算

会計名	平成31年度当初予算	前年度対比		
		増減額	増減率	
一般会計	56億9000万円	6億4000万円	12.7%	
特別会計	国民健康保険	10億6801万円	△6072万円	△5.4%
	介護保険	13億2627万円	6816万円	5.4%
	公共下水道事業	2億3166万円	604万円	0.3%
	後期高齢者医療	1億2470万円	△427万円	△3.3%
	土地開発事業	4630万円	△880万円	△16.0%
	湧水対策施設	5476万円	4323万円	374.8%
	入山財産区	19万円	△0.6万円	△3.0%
	大木戸財産区	15万円	0.1万円	0.6%

■水道事業会計

収支別	収入	支出
収益的収支	2億6811万円	2億6368万円
資本的収支	440万円	2億2387万円

※資本的収支の差は内部留保資金で補います。

まちづくり 基本的には固定費と考えている。

問 (佐藤定男議員) 財源は国庫補助金とふるさと納税となっている。ふるさと納税は金額が安定しないが、足りなくなった場合一般財源も使われるのか。

ふるさと納税は金額が安定しないが、足りなくなった場合一般財源も使われるのか。

風評対策事業の内容は

(渡辺勝弘議員)

問 風評対策事業670万円の内容を伺う。

総務 できる限り特定財源であるふるさと納税とするが、減った場合は一般財源の投入もやぶさかではない。

平成31年度 町長施政方針 (要旨)

引き続き、

1. 東日本大震災からの復興・再生
2. 安全安心な町政の実現
3. 活力ある町政の実現
4. 思いやりのある町政の実現
5. 町の継続的な維持発展

を重点課題とし、推進する。復興・創生期間の終了を見据え、町の自治体としての維持発展を将来に向けて強固にするため、町政の原点回帰を図り、将来に向けた町の基盤づくりを意識した政策を進めていく。

●原発事故からの復興・再生

引き続き風評対策に取り組むとともに、除染土壌などの早期搬出、東京電力への損害賠償請求など強く求める。

●阿津賀志山防壁

下二重堀を中心とした歴史公園化に向け取り組む。

●交流連携

道の駅を核とした友好自治体との連携強化のほか、地域おこし協力隊の招致、仙台圏をターゲットにした各種プロモーション活動に取り組む。くにみ農業ビジネス訓練所の長期研修生への住居支援、移住・起業・新規就業支援などを推進する。

●町民の健康づくり

健康寿命を維持し、高齢者の社会参加を図るため、生活習慣病予防や認知症対策などの介護予防の取り組みを強化する。来年に迫った東京オリンピック・パラリンピック機運醸成事業に町民一体となり取り組む。

まちづくり 交流課長

事業の内訳であるが東北楽天PRに100万円、周遊ツアーに122万円、グリーンツーリズム事業に46万円そして道の駅地域活性化交流連携事業に402万円である。

ているかである。どこに国見町があるのかや、国見町の名前をPRしたい。東北楽天、周遊ツアー、物産展、仙台くにも会などでのPRが大前提となる。歴史、くだもの、コメ、野菜などを付随的にPRし、存在意義をアピールしたい。

問

(渡辺勝弘議員)

道の駅をPRしていく上で、国見の道の駅がこれだと目指しているものがあれば伺う。

町長

宮城県内で国見町がどれほど理解され

問

(松浦和子議員)

費用的にPRし、存在意義をアピールしたい。費用対効果が重要だ。町は協定を結んでいる

費用対効果が重要では

町村との息の長い交流が必要だ。これまで仙台には新聞広告やチラシなどでPRしてきたが効果はあると見込んでいるのか。

まちづくり 交流課長

楽天公式戦を国見町デーとして協賛する。平均2万4千人の入場者に町産品、歴史、観光などを発信し、誘客につなげる。町のパンフレットを配布するなど入場者に直接PRできるので効果を期待している。

町長

協定を結ぶ町とコラボできないか検討

グリーンツーリズムは農家民泊で

する。道の駅に多くの事業がつかっているが、町内には多くの人が集まる場所がなかった。道の駅を基盤とし、情報発信をしていく。

問

(村上一議員)

グリーンツーリズムは、宿泊は道の駅、研修所として、農家民泊が基本だと考える。何名を想定しているか。

産業振興 課長

初年度であり、くにみ農業ビジネス訓練所で農業体験をし、道の駅に宿泊を考えている。将来的には農家民泊も検討する。人数としては3組10名程度である。

都市再生整備計画 事業の位置づけは

問

(浅野富男議員)

都市再生整備計画推進費は全体で6億円と説明があった。町道116号

の整備が入っているがこれを外すと全体事業が成り立たないのかその位置づけを伺う。

建設 課長

歴史まちづくり重点地区として二重堀を中心とした歴史公園整備、町道116号改良事業そして石蔵交流館整備事業が盛り込まれている。町道116号改良事業は基幹事業とされており欠くことができない。

問

(浅野富男議員)

商店街の活性化は大事と考えているが、道路を整備しても活性化にはつながらないのでは。

副町長

歴史まちづくり計画を具現化するのが都市再生整備計画事業である。国道4号、道の駅、中心市街地、更に藤田駅を結ぶことで回遊性へつなげる。コンパクトシティの見地からも注目されている。内容はまだ具体的にない部分があるので調整して進める。

条例制定

職員の福利厚生 の増進を図る

国見町職員互助会設置条例

(要旨) 地方公務員法の規定に基づき、国見町職員の福利厚生を増進を図る。
(全員賛成で可決)

町が設置・管理する 駐車場を明確化

国見町営駐車場条例

(要旨) 一般駐車場の整備に伴い、町営住宅等の駐車場を国見町駐車場として条例に位置付ける。
(全員賛成で可決)

要件の中に住宅 使用料の滞納も 入れるべきでは

問 (八島博正議員)
使用者の要件の中

に、市町村税などの滞納がない者であるが住宅使用料も入れるべきではないか。
住宅使用料の未払いにより退去となれば駐車場の使用もできなくなる。住宅の入居関係と同等の扱いとなる。

条例改正

公告式揭示場を 1カ所に

国見町公告式条例

(要旨) 公告式揭示場を現行の5カ所から小坂、森江野、大木戸、大枝の4カ所を廃止し、役場前の1カ所とする。
(全員賛成で可決)

税務課は税務住民課、 住民生活課は環境防 災課へ名称変更

国見町課設置条例

(要旨) 住民への窓口サー

ビスを推進するため、税務課へ戸籍係を移動させ、名称を税務住民課とする。また、住民生活課を環境防災課に名称変更する改正を行う。
(全員賛成で可決)

住民サービスの低下 にはならないのか

問 (渡辺勝弘議員)
職員数が少ない中で課が変わることは、住民サービスの低下になるのではないか。

現在、戸籍係と税務課の証明書手数料関係を一括してやっている。住民生活課の中に窓口業務と24時間体制で勤務しなければならない防災関係の一つの課で担うのは適切でないかと判断した。課の内容を充実させており、窓口のサービス低下にはならない。

新しい課の体制は、 町民への周知方法は

問 (八島博正議員)
税務課は2

係、住民生活課は2係1室だが、新しい課の体制は、町民への周知方法はどのようにするのか。

総務課長 税務課は課税収納の2係に戸籍係を合わせ3係となり税務住民課とし、住民生活課は1係1室で環境防災課とする。周知方法は町広報紙やホームページを考えている。窓口のサインも分かりやすくする。

施設の地上権設定 面積を減

国見町渇水対策施設 財産管理条例

(要旨) 貝田地区は場整備実施に伴い、施設の土地地上権設定面積を減にする。

■ 町債(借金)の残高

会計名	30年度末借金残高	31年度末見込借金残高
一般会計	63億6578万円	63億203万円

■ 基金(貯金)の残高

会計名	30年度末貯金残高	31年度末見込貯金残高
財政調整基金	7億5390万円	5億1948万円
復興基金	6122万円	3621万円
その他の基金(一般会計)	3億9834万円	3億7675万円
基金総額(一般会計)	12億1346万円	9億3244万円

旧団体の名称の 変更は

(全員賛成で可決)

問 (八島博正議員)
改正条文中に日本

国有鉄道盛岡工事局の文言があるが、現在の名称に変更しないのか。

上下水道課長

財産を引き継いだ当時の条例であるため変更しないのが適当であると考える。

関係法令改正に伴う文言の整理

国見町デイサービスセンター設置定条例

(要旨) 介護保険法などの関係法令改正に伴い、条例の参照条文と文言の整理を行う。

(全員賛成で可決)

国保被保険者からの適用除外する規定

国見町国民健康保険条例

(要旨) 児童福祉法の規定により児童福祉施設に入所している児童又は小規模住居型児童養育事業を行う者若しくは里親に委託されている児童であつて、民法の規定による扶養義務者がいない児童に対し、国保税の賦課が生じないように被保険

者資格の適用除外とする改正を行う。

(全員賛成で可決)

戸数を変更

国見町営住宅条例

(要旨) 北古館住宅の住宅1棟除却により戸数の改正を行う。

(全員賛成で可決)

条例廃止

現物給付化により

制度を廃止

国民健康保険高額医療費資金貸付事業並びに出産費資金貸付事業の基金の設置、管理及び処分に関する条例

(要旨) 高額療養費の現物給付化、出産育児一時金の直接支払制度の実施により、医療機関等での負担を抑えることができるため条例を廃止する。

(全員賛成で可決)

基金残高が皆無

地域雇用創出基金の設置、管理及び処分に関する条例

東日本大震災復興支援交付金基金の設置、管理及び処分に関する条例

(要旨) 右記の2基金条例については、基金原資を各事業に充当し、今年度末に基金残高がなくなるため条例の廃止を行う。

(全員賛成で可決)

※その他、条例改正5議案が原案どおり全員賛成で可決された。

一般議案

指定管理者を議決

指定管理者の指名

(要旨) 平成31年3月末で指定期間が経過することか

ら、国見町デイサービスセンター設置定条例の規定に基づき社会福祉法人国見町社会福祉協議会を再度指名

した。指定期間は、平成31年4月1日から3年間。(全員賛成で可決)

人事

人事

選挙管理委員・同補充員選挙

任期満了による選挙管理委員とその補充員の選挙が行われ、あらかじめ推薦された8名が当選されました。任期は平成35年4月3日までの4年間。なお、4月の選挙管理委員会では齋藤弘委員が委員長に再任されました。

国見町入山財産区管理委員に7名を選任

平成31年5月5日任期満了により、次の7名の選任に同意した。

中野 一雄氏(再任)
菊地 武雄氏(再任)
多勢 恒明氏(新任)
齋藤 重夫氏(新任)
阿部 洋一氏(再任)
後藤 克好氏(再任)
鈴木 直治氏(新任)

選挙管理委員
齋藤 弘氏(再任)
高橋 一博氏(再任)
武田 睦子氏(再任)
安藤 信男氏(新任)

選挙管理委員補充員
第1順位 佐藤 吉茂氏(再任)

地方債の繰上償還

平成30年度補正予算のうち、一般会計(第5号)は、既定の予算総額から歳入歳出それぞれ640万円を減額し、予算総額53億8358万円とすることを全員賛成で可決しました。

主な支出は、地方債の繰上償還、道の駅国見あつかしの郷に係る駐車場用地取得、都市計画図策定事業負担金などですが、年度末整理により全体として減額補正となるものです。

質疑

都市再生整備計画事業で地元の関係者への説明は

問 (浅野富男議員)
都市再生整備計画事業債の町道116号整備の目的は何か。

建設課長 地権者と調整して調査を進めている。地元説明会は行っていない。

固定資産税の増加理由は

問 (渡辺勝弘議員)
町税の固定資産税が5700万円増加している理由は。

税務課長 固定資産税の土地と家屋の評価額は3年に一度の評価替えがあり、平成30年度が基準年度であったが、当初予算編成時期が、その評価替えに伴う算出基礎を十分把握できない段階であったため、今回実績を踏まえて補正増となったものである。

問 (浅野富男議員)
この事業を実施して本当に市街地の活性化につながるのか。地元の方への説明をしていると思うが、合意は得られているのか。

繰越明許費の理由は

問 (八島博正議員)
土木費関係で4件の繰越明許費があるがその理由は。

建設課長 社会資本整備総合交付金事業4637万円は国道4号拡幅に際し、町道改良工事と町道新設の設計費である。2点目は、擁壁の復旧工事で近隣

地権者の承諾と調査のため時間を要した。3点目は、県が実施する都市計画図策に都市再生整備計画事業9220万円については、今年度採択を受け、現地調査が中心で、工事費や補償費を繰り起すものである。

平成30年度一般会計補正予算(第5号)のおもな内容

【主な事業】

- 地方債の繰上償還等 1億3552万円
- 道の駅国見駐車場用地取得費 2750万円
- 都市計画図策定事業負担金 900万円
- 公共施設整備基金(貯金)への積み立て 1000万円

【主な財源】

- 町税 4900万円
- 繰越金 2億8145万円

【予算に計上済みだが、31年度に繰り越しが決定した主な事業】

- 町道2138号ほか整備工事 4637万円
- L型擁壁復旧工事 1000万円
- 町道116号整備工事、歴史公園整備工事 9222万円
- 国見小・県北中特別教室空調設備整備工事 6870万円



駐車場として整備される予定地

問

(八島博正議員)

平成30年度の土木費の執行は3分の1で残り
は繰越明許になっている。
建設関係者から土木工事の
発注が非常に少ないと聞い
た。予算執行上の問題だと
思うがどうか。

副町長

震災からの復
旧復興に向け

て、ピーク時には130億
円の予算を組んで、町内業
者を中心に復興組合を立ち
上げ、除染事業等を進めて
きた。その時点と比較する
と少なくともなっているが、
現在も復旧復興事業や国道
拡幅に併せ中心市街地の道
路整備事業も進めている。
今後も、ハード面の整備

超過勤務手当の内容は

問

(松浦和子議員)

社会教育費と保健
体育費にそれぞれ105万
円と195万円の超過勤務
手当があるがその説明を伺
う。

生涯学習課長

生涯学習課は
生涯学習係と文

化スポーツ係の2つの係が
ある。業務の特殊性から、
多くの町民が参加できる土
日・祝日の事業が多い。振
替休日対応もなかなか難し
い状況にある。来年度に向
け勤務日や事業の目的、効
果の達成度合いを高めるた
め働き方について議論を始
めたところである。

基金繰入金減の理由は

問

(八島博正議員)

基金繰入金金が2億
4900万円マイナスに

なっている。前年度からの
繰越金は当初予算より多
く、実際2億8100万円
繰り越すことができたので
基金繰入金をマイナスにし
たと考えてよいか。

総務課長

議員ご指摘のとお
りである。

寄附金のふるさと納税額が減額となった理由は

問

(松浦和子議員)

ふるさと納税額寄
付金が850万円減額と
なっているのに対し、業務
委託費が1800万円減と
大きな金額の差となってい
る理由は。

総務課長

歳入では平成31年
分も受付している。
平成30年度のふるさと納税
業務委託は、当初想定した
納税額がなかったことによ
る。

討論

賛成討論

(浅野富男議員)

一般会計補正予算は、
年度末の整理による減額
補正が主なものである。
しかし、町債の中に都市
再生整備事業債250万
円が含まれており、事業
について住民からの要望
や合意があったとは考え
られずその部分について
は賛成できないが、これ
以外は評価できるることか
ら賛成討論とする。

議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は6月25日開催予定です

●手続きは簡単です!

受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。

●議案資料を準備します!

議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせください。TEL 585-3295 (直通)

町長の行政報告（抜粋）

■東日本大震災からの早急な復旧・復興

●除染対策

●除去土壌の輸送は、藤田方部1号、大枝方部1号仮置場において全量搬出が完了した。引き続き除去土壌等の早期の搬出を図る。

●応急仮設住宅の退去状況

●国見町に避難された方々が、3月末までに全員が退去する見込みとなった。

●風評対策トップセールス・特産品PR事業

●あんぱ柿の出荷最盛期に合わせ、道の駅や国見サービスエリア上り線での無料配布や産地合同で首相官邸や大田市場でPR活動をした。また、仙台中央郵便局で試食販売にも取り組んだ。

■安全安心なまちづくり

●放射線対策健康管理事業

●昨年実施したガラスバッジ測定結果では、健康被害が心配されるような方はいなかった。ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は3月末まで継続している。

■活力あるまちづくり

●道の駅国見あつかしの郷

●昨年12月末に来場者300万人を達成した。引き続き道の駅の活性化に向けた対応を図っていく。

●明日へ。きずなイルミネーション事業

●「あつかし山ビッグツリー」は、12月23日に点灯式を行い1月4日までの間、イルミネーションとコラボした町民参加型の事業として実施した。

●食の文化祭事業

●12月19日に開催した食の文化祭には、200名を超える町内

外からの参加者があり、道の駅や各地区のお母さんなどに作っていただいた50品以上の食を堪能した。

■思いやりのあるまちづくり

●木育推進事業

●2月23日、平成30年に誕生した33名の子どもたちに国見産の杉材で製作したおもちゃを贈呈した。

■町民の皆様との連携や維持発展

●遊休施設リノベーション事業

●駅前倉庫の利活用については、県の補助金を活用した町側の改修工事は2月末に完了し、本年10月頃のオープンを見込んでいる。

●租税教室

●次世代を担う児童・生徒に対し、健全な納税者意識を養うことを目的に、2月6日に小学校6年生を対象とした租税教室を開催した。

●くみに農業ビジネス訓練所運営事業

●昨年4月の開所以来、野菜の多品目栽培とトマトの養液栽培を進めるとともに、短期研修・体験研修を実施し、今年度の研修はすべて終了した。現在は、新年度の研修生の募集を行っている。

●東京2020オリンピック・パラリンピック事業

●町では、国見町応援団を結成するとともに、小中学生を対象に一流アスリートによる実技講習会を実施した。

●文化芸術事業

●1月27日に「若い芽のコンサート」として、箏と三味線を稽古した17名の小中学生の成果発表を実施した。今後、和太鼓コンサートや若い演奏家たちのコンサートを行うこととしている。

みなさんからの 陳情

3月定例会では陳情1件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について	日本労働組合総連合会 福島県連合会伊達地区連合会 議長 高橋 誠一	採択

※議長は採決に参加しない。

委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議会に諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

3月定例会では意見書1件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

本県の復興促進や労働人口の流出防止、中小・地場企業の支援強化のため、最低賃金の引き上げと早期発効を求めるもの。

可決
(全員賛成)

町政を問う

一般質問

3月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問し、政治姿勢を明らかにするものです。

～5人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



議員	質問事項	ページ
松浦 常雄	幼小中のインフルエンザ対策は	12
	トイレの臭いの改善を図る考えは	
阿部 泰藏	消防団の組織を維持する取り組みは	13
松浦 和子	町民の健康づくり推進対策は	14
渡辺 勝弘	市街化調整区域の地域活性化策は	15
	あつかし山ビッグツリーの在り方は	
浅野 富男	第5次国見町振興計画の中の子育て支援とは	16
	子供に係る国保均等割の免除は	
	大型商業施設出店計画への協議の有無は	

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

Q 幼小中のインフルエンザ対策は

A 加湿器を設置する方向で検討する



松浦常雄議員

適切な室温や、湿度も重要であると言われていいる。幼小中の公費で購入した加湿器の数はどのくらいか。

次長 幼稚園に8台、小学校は0

であるが、PTAの寄付により、普通教室等に16台、特別教室に1台、図書室に4台である。中学校は0である。

問 小学校には、PTAの寄付による加湿器が21台ある。それは、家庭の十

畳間用の加湿器で、教室の広さには不十分である。

幼稚園の保育室には、十分な加湿器が設置されているが、遊戯

室にはない。

また、小中学校の特別教室にはほとんど設置されていない。

こうした状況を踏まえ、子供たちの健康

上、小中学校の特別教室を含め、幼小中には、十分な容量の加湿器を公費で設置すべきと考えるがいかがか。

教育長

幼児児童生徒の健康

上、教室等の適度な湿度を保つことは必要なので、今後十分な加湿器の設置を検討してい

きたい。

トイレの臭いの改善を図る考えは

問 小学校の保護者から学校のトイレの悪臭をなんとか減らせないかという声がある。従来の方法とは別に、薬剤により尿石を溶かすなど清掃の仕方を見直すことが必要ではないか。

教育長

小学校も中学校もト

イレの清掃は、しっかりとやっているが、築後30年以上経過しており、トイレをはじめ、トイレ全体の汚れが見られる。

町では、各階に洋式の便座を設置するなど改善に努めてきた。

また、悪臭を減らすために業者に依頼し、清掃をしてきた。

トイレの悪臭を改善するには、改修するのが最も効果的であるが、それには、莫大な経費がかかるので、実現は難しい。尿石を溶かすなど清掃の仕方を工夫し、悪臭を減らすようにしたい。

問 この冬は、インフルエンザが

例年よりも多く流行し、全国で222万6千人以上の方が罹った。県内では、過去10年間で最悪の状態であったと報じられた。患者の6割以上が、14歳以下である。

国見小学校でも学級閉鎖を行った学年があった。

町は、どのような対策を取ったのか。

次長 昨年11月に出席会教育長の通知に従い、幼児児童生徒には、

手洗いやうがい、励行、マスクの着用などを指示した。

問 予防には、バ

ランスのとれた食事や、十分な睡眠、

予防には、バ

ランスのとれた



改修を終えた昇降口の扉

Q 消防団の組織を維持する取り組みは

A 消防団員の確保は組織維持発展の最重要課題

問 消防団の条例定数と団員の現状を伺う。

課長 住民生活課 条例定数は266名

で、現状は245名である。

課長 住民生活課 消防団員募集については消防団を所管している住民生活課で担当しており、実際の募集行為については各分団による勧誘、地縁などにより新団員の確保をおこなっている。

課長 住民生活課 消防団員少で団員の確保が消防団では難しくなっている。町が主体となつて今後取り組んでいくことが望ましいが見解を伺う。

課長 住民生活課 消防団員の確保は、各分団に委ねてきてお

り、新団員は概ね確保できている。しかし、団員確保は難しくなりつつあるのも事実であり、消防団の意義や活動などの広報を行い、消防団とも協議しながら潜在的な掘り起こしを行つてまいりたい。

問 女性消防団員の現状と今後の取り組みは。

課長 住民生活課 現在女性消防団員は2名である。

今後、男女共同参画社会の実現と地域防災力の向上を図るため、消防団と協議しながら女性が入団しやすい環境づくりに努めたい。

問 消防団の組織強化のため役場職員の消防団の加入が必要と思うが考えを問う。

総務課長 町職員は地域防災計画に基づき災害対応を担う。避難所の開設や運営、食料の確保など防災活動に従事することになっている。既に地域防災のため重大な使命と役割が課せられている。

問 火災や災害などの有事の際に限定した、消防団OBなどの機能別消防団員制度の導入について考えを問う。

課長 住民生活課 分団を組織した場合課題もあるが、消防団OBの知識と経験は得難いものであり、消防団と協議してまいりたい。

た考えを問う。

町長 消防団員の数の低減やサラリーマン団員などのいろいろな課題があるが、町と消防団と協力し一体となつて検討、強化してきた。消防施設など町が外面的な環境づくりをしつかりやつていく。さらには女性団員や役場職員の問題など内面的な部分の検討を十分行い、組織の維持発展に最重要課題である消防団員の確保にしっかりと対応していきたい。



阿部泰藏議員



きびきびとした放水訓練



今年の出初式の様子

Q 町民の健康づくり推進対策は

A オール国見体制で健康づくりに取り組んでいく



松浦和子議員

り行い、前に進めて、町の人口減少対策に繋げていく。

問 以前、全家庭に配布の食育事業やウォーキングマップを活用した事業は実施されたか。

保健福祉課長 平成29年度にウォーキングのルート図として配布、一定の効果があった。一人ひとりの健康づくりには町民全体の水準を上げることが大事であり、全体のレベルアップの取組みの継続が必要である。

問 人口減少対策の1つに健康寿命を延ばし長生きすることの考えがあるが、それに向けた取り組みを伺う。

町長 町民が地域で生き生きと暮らし続けるには、何より健康が重要である。保健、食育、福祉、国保、後期高齢、介護保険の

健康づくり事業があるが、新年度は健康づくり各事業の連携を深め、減塩対策の新たなプログラムの作成、個別組織の統合などオール国見体制で実施していく。特に、「食」「運動」「社会参加」「規則正しい生活」この4つがうまく循環できる健康づくり対策をしっかりと

平成31年度の健康づくり予算

問 平成31年度の健康づくり予算

は30年度の当初予算と比較して増か減か伺う。

保健福祉課長 保健衛生総務費については480万円増加している。「食の文化祭」は新年度から保健福祉課で担当する。減塩に力点を置いた食育の活動を実施するほか、平成30年度の事業で効果の高かった「内臓脂肪を燃やす会」という運動教室を拡充する。

問 新聞社が県内の自治体を実施したアンケート「最も対策が必要な健康課題」に、町は5つの項目から「運動不足」と回答した。その根拠について伺う。

保健福祉課長 健康づくりで効果がでてくるといふところは「運動」が一番わかりやすい。特定健診時の問診データを確認したところ、1日1時間

以上の運動習慣があるかとの問いに69・6%が「ない」と答えた。全国平均は47・7%、県平均でも62・4%であり、町では7割近い人が習慣化していないことから「運動不足」と回答した。

問 平成29年6月議会でパークゴルフ場の建設について質問し、その際の答弁は補助金を活用しスピード感をもって進めていくとのことだったが、運動不足を解消し健康寿命を延ばすことから早くも早急に対応すべきと思うがいかがか。

生涯学習課長 平成29年8月から町内外の7名で組織した検討委員会を3回開催した。3回目の検討委員会では建設候補地について、2つ目はパークゴルフ場の規模について、3つ目は

施設の維持管理について、4つ目は建設に多額の経費を支出することから町民の理解を得る取り組みと愛好者の拡大という項目についてまとめた。町は愛好者の裾野を広げる取り組みとして、教室の開催や町長杯スポーツ大会の新競技として追加した。建設には、財源確保や建設予定地の土地利用の状況を十分踏まえ検討する。

町長 健康づくり、社会参加の面からも非常に重要と考えるが、一番は土地利用の問題である。また、愛好者の裾野の問題や補助の確保の問題もある。町単独の経費も出るので、町民の理解が得られるよう十分検討する。早くやりたい思いは共通しているのでストーリーを描きながらまちづくりに向け対応したい。

Q 市街化調整区域の地域活性化策は

A 現行都市計画の中でしっかりとまちづくりを進めていく

問 市街化調整区域に住宅等が建てられず町外に流出してしまう事が懸念されるがいかがか。

当町では近隣の市町とともに県北都市計画の中で区域区分が示されている。町外への流出については、市街化調整区域だけの問題ではなく、魅力あるまちづくりが必要であると考える。

が出来ないなど制限がある理由を町民に十分説明、理解されているのか。

建設課長 区域区分は、無秩序な開発を防止し、良好で快適な市街地の形成、優良な農地の保全や自然環境の維持を目的としている。規制については生活環境に直結するもので、必要性についても広報などにより周知に努めたい。

建設課長 市街化調整区域については、住宅等の建設は農家要件を有する人に限定され、法制度上、一般の方は建築出来ない事になっている。

問 市街化調整区域において開発

土地の合理的な活用が基本理念であれば見直し案を考えるべきでは。

市街化区域の拡大については

各地区の市街化調整区域において今後の地域活性化をどのように考えているのか。

町長 市街化調整区域は市街化を抑制する地区であり、農業を主体として推進する地区である。現行の都市計画でまちづくりをしっかりとやっていくことがベスである。すばらしいものを未来に繋げることに使命感であり、現行でできる事をしっかりとシナリオを描きながら持続的な地域づくり・農業振興を

認められる状況になく、見直しには至っていない。

問 各地区の市街化調整区域において今後の地域活性化をどのように考えているのか。

町長 市街化調整区域は市街化を抑制する地区であり、農業を主体として推進する地区である。現行の都市計画でまちづくりをしっかりとやっていくことがベスである。すばらしいものを未来に繋げることに使命感であり、現行でできる事をしっかりとシナリオを描きながら持続的な地域づくり・農業振興を

進めていく。

あつかし山ビッグツリーの在り方は

問 予算が厳しいなか今後継続していくのか。

町長 復興・絆イルミネーションとのコラボ事業として実施しており、新聞の一面を飾るイベントに成長した。町民の心ん明かりを灯す重要なイベントとして継続して事業を推進していく。

業を推進していく。

問 継続する上で年々枝が伸び、設置が困難を極めているがその対応について伺う。

企画情報課長 森林再生事業により一部伐採、整枝している。今後改めて協議しながら対策を検討していく。

問 事業を継続し盛り上げていくには町民を巻き込んだ組織づくりが必要では。

企画情報課長 事業設置を今後も継続して建設業協会並びに管工事組合にお願いをしていきたい。誇りと愛情を持った方々を中心としたイベントづくりができればと考えている。



渡辺勝弘議員

建設課長 市街化区域の拡大については

冬



冬の風物詩のあつかし山ビッグツリー

Q 第5次国見町振興計画の中の 子育て支援とは

A 屋内遊び場事業や子育て支援ガイド ブックで事業の周知を図っている



浅野富男議員

の対応など支援は十分に行っている。

問 給食費の負担軽減については「材料費のみの負担をお願いしている」ので適正と考えている」とのことであるが、憲法第26条には義務教育はこれを無償とするとなっている。どのように考えるか。

教育長 義務教育にかかるとべてのものを無償にするという趣旨ではないと解している。基本的には授業料とかは無償であり、負担軽減というところで教科書等が無償となっている。教材費や給食費まで無償にしなければならないこととは考えていない。

子供に係る国保均等割の免除は

問 国民健康保険制度には所得割に加えて世帯割と均等割がある。15歳までの子供に課している均等割はいくらになるか。

保健福祉課長 均等割は1項目で、15歳までは1人あたり3万2千円、全体額は個々の積み上げによるが、概ね130人かけると約420万円位となる。

出店計画への協議の有無は

き、独自に実施するにはシステム改修などコスト増となる。また、法定外繰り入れとなることから課題の整理が必要である。均等割の軽減措置について全国知事会などが国に財源措置を要望しており注視していきたい。

問 大型商業施設イオンモールの出店計画があるが、県商業まちづくり条例との関連で出店を見合わせていた経過がある。この場合近隣市町同意が必要になるが協議はあったのか。

町長 県に大型店の係市町ということでは本町も入ると思われ、意見の具申が求められるものと理解しているが現在のところ全くない。

問 第5次国見町振興計画の中には「国見町に育つ子供は町の宝であり、安心して子供を産み育てる環境を築くことは緊急の課題となっている」とある。子育て支援という点からこの計画に沿って進められたことにはどういったものがあ

幼児教育課長 屋内遊び場事業として「くにみもたん広場」、道の駅あつかしの郷構内には木育広場の「つながるーむ」、及び藤田保育所には地域子育て支援センターの機能があり2か所での実施となっている。さまざま

問 安心して子供を産み育てる環境で、最も不安なのが教育にお金がかかることとがあげられるがこのような状況をどう判断するのか。

教育長 お金がかかるという認識はそれぞれの家庭でも違うものがある。経済的な弱者と言われる要保護、準要保護家庭への支援、奨学金で

問 子育て支援の一環として均等割を免除することに踏み切った自治体もある。法的にはできないことではないと考えるがどうなのか。

保健福祉課長 子ども医療費も無料、保険料負担も無料では全体の公平性を欠

まちの魅力を発信し 交流入口の拡大を図る

総務文教

2月15日、所管事務調査として、企画情報課の「シテイプロモーション事業」の調査をした。

事業の主な内容と特徴は、次のとおり。

①シテイプロモーションとは、地域を持続的に発展さ

せるために、地域の魅力を創出し、地域内外に効果的に訴求しそれにより人材・物財・資金・情報などの資源を地域内部で活用可能にしていくこと。

②シテイプロモーションに必要な力とは地域への愛着、地域への当事者意識（シビックプライド）を醸成することが大切。



スライドで詳しい説明を受ける議員

③国見町の地域ブランドディング事業への取組みとして、平成28年から始まり5か年計画で進めてきた。家守育成トレーニング並びに講習会を実施してきた結果、3年目にして民間「家守舎桃ノ音」会社が設立された。ビジネスモデルとして、町が所有する不動産を家守舎に賃貸、家守舎は必要と

する業者に転貸し有効利用を図っていくものである。情報発信事業としては、仙台市の百貨店の協力を得て震災以降販売のなかった「福島の桃」を2時間で2千個完売した。風評被害はほぼ感じられなかった。調査の結果、次のことが

わかった。
●シテイプロモーション事業とは、自治体活性化の事業のことで、地方創生事業の一つである。
●シテイプロモーション事業の予算は国からの補助が50%である。
(報告者 松浦常雄)

食農分野における 事業後継者問題と対応策

地方自治研究交流セミナー報告

第3回報告
2月8日

福島大学食農学類いよいよスタート

講師 福島大学経済経営学類

則藤 孝志 准教授

食農学類は農業が基盤にあ

って関連する様々な産業

が域内・周辺で結びつき、

つくる人、つかう人、食べ

る人が集まり、取引し、交

流して、にぎわうすがたを

想定する。学生は2年後期

から3年に福島県全域を

キャンパスとした、実践プ

ログラムを行う。

後継者不足の実態

黒字経営、高収益事業で

も後継者不足で「休廃業・

解散」が倒産より多いのが

実情である。人により営農

方針や方法が異なるので他

人が継承することが困難で

ある。中間管理機構が土地



熱心に質問する議員

を借り入れて手を入れてやりたい人に渡す経営継承は今後の農業の在り方の光といえる。
都市生活者の農業、農村への関心は高い
伊達市の地域おこし協力隊がブドウを栽培し町中で醸造し、販売する方法は新しい農業継承の在り方を示している。2017年6月設立の福島県食品生産協同組合の内容について紹介され、各社の強みと弱みを補完し合える場だと思ふ。
福島大学食農学類のスタートに、関連する様々な分野で活躍される学生の輩出に期待する。
(報告者 松浦和子)

任期満了にあたり 御礼申し上げます

議会議長 東海林 一樹



国見町議会議員の任期満了にあたり御礼の挨拶を申し上げます。

この3月定例会は私たちの任期中の最後の議会でもありました。

震災から4年後の平成27年6月に議会議員の改選で新たに12名の議員が誕生しました。

町は、東日本大震災と福島原発事故からの復旧・復興のさなかで、中でも県北浄化センターに留め置かれた汚泥は2万7千袋を超え、その臭気で地域の人たちは大変悩まされました。しかし、平成29年1月末に全量

搬出が完了し、元の生活に戻りました。

町内の除染も平成29年6月には完了致しました。

また、平成29年5月に復興のシンボルとして待望の「道の駅国見あつかしの郷」

がグランドオープンし町内外からの来場者が大変多く、昨年末には300万人を超える盛況振りであります。

一方、議会におきましては、平成29年2月に副議長志村良男議員がご逝去されたことは、痛恨の極みであり、議会にとりましても大きな打撃でありました。

また、議会改革では、議会基本条例に基づき情報発信や開かれた議会を目指すべく、年2回議会報告懇談会を開催してきたところであります。

さらに、昨年度は議員定数について、議員全員で真摯に議論をし、議会機能の強化及び維持の点から全会一致で現定数維持を決定したところでありました。

結びに、限り無い国見町の益々の発展と町民皆様のご健勝をご祈念申し上げます。4年間の御礼の挨拶といたします。どうもありがとうございました。

一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体

病院職員の給与の率を改定

公立藤田病院組合議会

12月21日、第4回臨時会が開催され、職員給与の支給率を改定する病院職員の給与、勤務時間その他の勤

務条件に関する条例改正を可決しました。

(報告者 村上 一)

年度末整理に伴う減額補正

伊達地方衛生処理組合議会

1月29日に第1回臨時会が開催されました。

提出された案件は、専決処分の報告1件、給与条例の改正が1件、人件費の増や年度末の整理による減額する30年度補正予算(一般会計、し尿処理事業会計、ごみ処理事業会計)など3件が審議され、すべて提案のとおり可決しました。

(報告者 浅野富男)

施設設備の更新事業費などの当初予算を可決

福島地方水道用水供給企業団議会

(自然の水を浄化し、水道

水として国見町、福島市、桑折町など3市3町に提供する事務組合)

【定例会】

2月19日、企業団議定会例会が開催されました。

審議に先立ち、副議長に伊達市議会の高橋一由議長が選出されました。

平成30年度補正予算、平成31年度当初予算ほか2議案が審議され、いずれも可決承認されました。

平成31年度当初予算
収益的収支予定額

収入 45億9453万円

支出 48億8533万円

資本的収支予定額

収入 0円

支出 23億8017万円

(収支差引不足分は、過年度分の留保資金など全額で補います。)

(報告者 東海林一樹)

傍聴者からの

声

3月議会を傍聴したみなさんからアンケートにより ご意見をいただきました。(抜粋)

●一般質問の健康づくりの中で議長から2回通告外の質問をしない様にと注意があったが私は健康に関する内容であり通告外とは思わない。事前に用意した質問と回答だけで演出する様では意味がない

と感じた。(70代 男性)

●傍聴者からの声「アンケート」反映と対応、具体的に公表願いたい。(80代 男性)

議会の動き

3月5日	3月議会定例会(～19日) 総務文教常任委員会、産業建設常任委員会、広報常任委員会
3月7日	議案調査会(～15日)※休日を除く 町フォトコンテスト審査会
3月10日	藤田駅新駅舎記念セレモニー
3月13日	県北中学校卒業証書授与式
3月18日	くにも幼稚園修了証書授与式、議員懇談会、正副議長委員長会議、全員協議会
3月19日	議会運営委員会、全員協議会、広報常任委員会
3月22日	国見小学校卒業証書授与式 町フォトコンテスト表彰式
3月23日	藤田保育所修了証書授与式
3月24日	町剣道祭開会式
3月25日	伊達地方消防組合議会全員協議会・議会定例会(伊達市)、伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・議会定例会(伊達市)
3月26日	町民生委員推薦会 公立藤田病院組合議会全員協議会・議会定例会
3月27日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
3月28日	教職員離任式
3月29日	退職職員辞令交付式
4月1日	新規採用職員辞令交付式、教職員着任式
4月2日	町交通対策協議会
4月4日	藤田保育所入所式、広報常任委員会
4月5日	くにも農業ビジネス訓練所長期研修生入講式
4月8日	国見小学校入学式、県北中学校入学式
4月9日	くにも幼稚園入園式、広報常任委員会
4月10日	町内会長会議、伊達郡町村議会議長会各町議会議長会議、伊達郡振興懇談会(福島市)
4月11日	町生活環境推進員会議
4月12日	広報常任委員会
4月13日	町体育協会総会
4月17日	町赤十字奉仕団役員会
4月18日	町遺族会定期総会
4月19日	議員懇談会
4月20日	町郷土史研究会通常総会、町駅伝競走部総会
4月21日	内谷春日神社例大祭・太々神楽奉納
4月25日	まちづくり推進協議会、町寿クラブ連合会総会、平成31年第1回議会報告懇談会(～28日)

地方自治の振興発展に尽力

全国町村議会議長会表彰



表彰された阿部副議長

2月6日、全国町村議会議長会定期総会で、同議長会表彰規定に基づき、町議会議員15年以上在職功勞者として阿部泰藏副議長が自治功勞者として表彰されました。

3月議会定例会の席上で表彰状が伝達されました。

町議会議員の選挙は 6月2日(日)

選挙期日は、6月2日と決定しました。現議会議員の任期は6月18日まで、新議会議員の任期は翌日の19日からとなります。



私が思う国見のいいところ

北海道に住んでいた伯父は、生家からの半田山の風景が忘れられないと言っていました。国見町は、本当に自然の美しい、歴史のある町だと思います。

私の友人達からも、「国見町はすごいね」と言われることがあります。一つは、観月台文化センターの、コンサート等のイベントが豊富なことです。私も、さかなクンと林家三平さんに会えました。今年も、どのようなイベント等があるか楽しみです。

それから、最近センターのロビーには、学生の姿が多く見られ、活気があるなど感じています。充実した図書室もありますし、今後も、若い人達が足を運びやすい場所になるといいと思います。

もう一つは、道の駅国見あつかしの郷です。新鮮なくだものや野菜があり、商品の種類が多いそうです。



佐藤 文子さん

(徳江北町内会)

私も、よく手土産を求めに行きます。

また、年に数回の友人達との集場所が、ここ二年間は道の駅です。食事後、町内を散策し、帰りに野菜等を買って帰って行くのですが、楽しんでくれています。最近、大木戸ふれあいセンターのつるし飾り展を案内して来ました。道の駅の宿泊施設、風道も、その友人達と既にご利用しています。

身近にこういう施設があり、気兼ねなく利用できることは、有り難いことと思います。

それから私は、八十七歳の義父から三歳の孫まで暮らしているお陰で、色々な方々に接する機会があります。介護関係の方、保育所の先生方、学童の先生方等、みなさん明るく一生懸命に向かいあって頂いています。温かさを感じ、これも「国見町のすごい」ことと思います。

最後に、近くに中尊寺蓮池があります。花が咲くとカメラやスケッチブックを持った方が早朝から来ています。以前、迷っていた方を案内したことがあります。整備をして公園にするようだと聞いています。阿津賀志山、防塁、中尊寺蓮池がどのように観えるか、今から楽しみにしています。

駅前倉庫の改修を調査

3月定例会会期中の3月11日議案調査の一環として、遊休施設リノベーション事業で、県の補助金を活用して進められた駅前倉庫の改修状況を議員全員で調査しました。今年10月頃のオープン見込みで利活用が期待されます。



第一期改修工事が完了した駅前倉庫

「私もひと言」原稿を募集

議会だよりにみなさんからの意見や要望、議会を傍聴した感想などを掲載します。日頃から思っていること何でも結構です。字数は600字(400字詰め原稿用紙1枚半)程度です。どしどしお寄せください。

広報常任委員長 松浦和子
(事務局Tel 585-3295)

3月定例会は、私たちの任期中の最後の議会でした。

この議会だよりは、年4回の発行で、その編集は6人の広報常任委員が担当し、2年で別の6人に交代する制度をとっており全議員が関わることになっております。広報常任委員会では見やすく、読みやすい紙面づくりに努めており、一人でも多くの町民の方々に手に取ってもらえる様、心がけております。

さて、復興のシンボル「道の駅国見あつかしの郷」も間もなく開業2周年を迎えます。来場者は多く、全国でも人気上位に位置する道の駅となっており、国見町のみならず、福島県の観光拠点の一つになりつつあります。ますますの繁盛を期待しております。
(東海林一樹)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

- 委員長 松浦和子
- 副委員長 村上正勝
- 委員 東海林一樹
- 委員 八島博正
- 委員 佐藤定男
- 委員 井砂善榮

